

平成24年度 北海道新エンジンシステム研究会 第三回講演会 議事録

日 時

- 11月3日(土): 14時 現地集合  
15時00分～17時00分 講演会  
18時～夕食・懇談会
- 11月4日(日): 8時 起床  
8時30分～朝食  
9時30分～清掃, 後片付け  
10時 現地解散

場 所

北海道工業大学芦原ニセコ山荘  
北海道虻田郡ニセコ町字曾我 598 番地 TEL: 0136-44-1031

講演題目・講師

1. 「2050年を見据えた暮らし方は? ～家庭と移動手段からの視点～」  
帝京大学 理工学部 機械・精密システム工学科 森 一俊 教授
2. 「自動車排出ガスの総量推計」  
慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 飯田 訓正 教授

参加人数

21名

共催団体

自動車技術会北海道支部

講演概要

恒例の合宿講演会をニセコ山荘にて開催した。内燃機関シンポジウムの開催に合わせて実施したおかげで、昨年の講師をお引き受けいただいた日本工業大学の中野先生や新ACEの内田さんなど、遠方からもご参加頂いた。

森先生のご講演では、地球の環境容量指標であるエコロジカルフットプリントについて解説頂き、その数値は現在地球全体の限度値を超えており、危機的な状況であること、一人ひとりのライフスタイルの見直しが重要なカギであるが、自由と喜びを忘れてはならないことなどを解説頂いた。

飯田先生のご講演では、自動車による大気汚染の歴史と排気後処理の現状について解説頂いた。中国での大気汚染が深刻である現状を危惧されていること、ガソリン中の鉛は公害の原因ではなかったこと(ミスリード!), 放射性炭素による年代測定法の原理など、豆知識も紹介して頂いた。

夜の部では日本工業大学の中野先生にも特別にご講演頂くなど、和気あいあいの素晴らしい雰囲気の中、会を満喫して頂いた。

以上